

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	泉南の自然とその再生：地形・地質と干潟生物 (Nature and its regeneration of the southern Osaka : topography, geology and shore animals)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	此松 昌彦・古賀 庸憲		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 4月15日(土) 13:00~16:00	第5回 5月27日(土) 13:00~16:00	
	第2回 4月22日(土) 10:00~16:00	第6回 6月3日(土) 13:00~16:00	
	第3回 5月13日(土) 10:00~16:00	第7回 7月22日(土) 10:30~14:30	
	第4回 5月20日(土) 13:00~16:00		

【授業の概要・ねらい】

岸和田を含む泉南地域には比較的良好な自然が残っており、また一部再生も進められている。生き物とそれを育む地形について知見を広めることで、これらを次世代にどう残していくのか考える機会とする。

【授業計画】

- 第1回(此松・ゲストスピーカー)(きしわだ自然資料館にて講義)
 きしわだ自然資料館(南海本線岸和田駅より徒歩15分)
 岸和田市の自然について(地形・地質を主として講義。きしわだ自然資料館での見学を含む。)
- 第2回(此松・ゲストスピーカー)(フィールドワーク：バス移動)
 岸和田周辺の丘陵部を作る大阪層群
 ※フィールドワークの詳細については、4/15の講義で説明します
- 第3回(此松・ゲストスピーカー)(フィールドワーク：バス移動)
 和泉葛城山の自然(地質・地形・植物など)
 ※フィールドワークの詳細については、4/22の講義で説明します
- 第4回(古賀)(講義)
 干潟の生き物・干潟の役割
- 第5回(古賀)(フィールドワーク：バス移動)
 男里川河口干潟(「日本の重要湿地500」(環境省)に選定)
 ※フィールドワークの詳細については、5/20の講義で説明します
- 第6回(古賀)(講義)
 動物の行動・生態・進化
- 第7回(古賀・ゲストスピーカー)(フィールドワーク：当日現地集合)
 近木川河口の自然干潟と再生汽水ワンドで干潟生物の比較「日本の重要湿地500」(環境省)に選定
 10:30-12:00 貝塚市近木川河口 13:00-14:30 貝塚市立自然遊学館
 ※フィールドワークの詳細については、6/3の講義で説明します

【到達目標】

自然の理を生物・地学的観点から体験・理解する。

【教科書】

講義の回に資料を配布する。

【履修上の注意・メッセージ】

- ・フィールドワークの日にはフィールドワークに適した服装(干潟に行く日は長靴も)。
- ・フィールドワークの日については、集合時間や移動時間の関係上、記載している時間通りにならない場合がありますので注意して下さい。
- ・天候の関係でフィールドワークが実施できない場合もあります。
- ・講義、フィールドワークについて特に指定がない限り、原則会場・集合場所は、岸和田サテライト(岸和田市立浪切ホール)となりますので、よく確認の上授業に出席してください。
- ・第2回、第3回、第5回のフィールドワークについては、バスで乗り合わせて移動します。
- ・フィールドワーク1回につき、保険代(傷害保険加入)として100円が必要です。保険代は、フィールドワークの日に徴収します。

※フィールドワークの詳細については、前の回の授業で説明します。

「文化資源と地域再生(アゴラセミナー I B)」について

- ・この授業は、大阪府立大学と和歌山大学が共同で開講する授業です。
- ・社会人の方は、岸和田サテライトの学部開放授業(平成29年度前期)「泉南の自然とその再生ー地形・地質と干潟生物ー」の受講者に限り、下記の【授業計画】の一部を聴講することができます。
- ・聴講希望者は、学部開放授業「泉南の自然とその再生ー地形・地質と干潟生物ー」の聴講申請書(12ページまたは13ページ)の該当欄に✓を記入して申請してください。(希望者が定員20名を超えた場合は抽選で聴講者を決定します。結果は学部開放授業受講通知と併せてお知らせします。)

授業科目名 (英文表記)	文化資源と地域再生 (アゴラセミナー I B) (Culture heritage and community regeneration (Agora seminar 1B))		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	西田 正宏・青木 賜鶴子・前川 真行 (大阪府立大学地域連携研究機構) 菊川 恵三・大橋 直義 (和歌山大学教育学部)		
開講	岸和田サテライト		
聴講可能な 時限	8月9日(水) 3・4限 8月10日(木) 1・2・3・4限 8月11日(金・祝日) 1・2・3・4限 (1限 9:30~11:00/2限 11:10~12:40/3限 13:40~15:10/4限 15:20~16:50)		
<p>【授業の概要・ねらい】</p> <p>和歌山県を中心にその周辺地域(泉佐野市や岸和田市など)には、多くの文化資源が残っている。城は言うまでもなく、各地に伝わる伝承を記した碑や、寺社もそうであろう。名所図会のような文献に残されたこともまた「文化資源」と呼べるかもしれない。これら「文化資源」がはたして、その地域を再生するために有効にはたらくであろうか。あるいは有効にはたらかせるためには、どのような方法が考えられるであろうか。以上のような視点から、さまざまな文化資源を取り上げ、その内実を知るとともに、その有効性について考察する。</p> <p>【授業計画】(聴講は下線の時限のみ可能です。ご注意ください。)</p> <p>8月9日(水) 1限 ガイダンス(西田) 2限 和歌山周辺をめぐっての学生との対話(前川・西田) 3・4限 万葉の勝地としての和歌山を見直す(菊川)</p> <p>8月10日(木) 1・2限 「まち」をあるくということ(前川) 3・4限 道成寺をめぐる説話と伝承(大橋)</p> <p>8月11日(金・祝日) 1・2限 「紀伊国名所図会」は地域再生に有効な視点を提供するか(西田) 3・4限 蟻通神社と和歌をめぐる伝承について(青木)</p> <p>8月24日(水) 1・2・3限 テーマごとの発表とまとめ(西田)</p> <p>【到達目標】</p> <p>さまざまな文化資源についての知見を深め、それを活用する提案ができるようになることを目標とする。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業中に適宜資料を配付します。必要な参考書・参考文献等は教員が指示します。</p>			